

多文化 防災 ガイド



日本人と外国人が、共に災害を乗り越えるために。

近年、地震だけでなく、台風や水害などの災害が各地で多発しています。災害時は、日本人も外国人も、分け隔てなく困難な状況に陥ります。特に外国人は、言葉や生活習慣の違いから情報が手に入りづらく、要支援者となりがちです。しかし、適切な情報を伝えることで、支援者側として活躍してもらえる可能性があるのです。外国人が多く住む愛知県。いざ災害が起こると、多くの外国人が周りにいたことに気づくでしょう。同じ地域で暮らす住民として様々な違いを認めた上で助け合い、困難な被災後の生活を乗り越えていくための方法をご紹介します。



災害時の困りごと&解決法



多文化防災つかえるツール



共に災害を乗り越えるためのポイント



外国人の声

このガイドの使い方

避難所に備え付け、災害時に参考にします。中のページは掲示用として使えます。
防災訓練を行う時にも参考としてください。



災害時の外国人 困りごと&解決法

言葉が通じない!? 災害用語は難しい。

災害時に使う言葉は難しく、通じないことが多いので、「やさしい日本語」(注)を使いましょう。

(注: 普通の日本語よりも簡単でわかりやすい日本語のこと。)

スマートフォン等で使える「翻訳アプリ」も有効です。 → ■ つたえるツール ③～⑥

地震も台風も初めてで怖い！ ヒナンジョってなに？

地震や台風の経験が少ない国出身の人もあります。外国人にも防災訓練に参加してもらう工夫をしましょう。避難所のルールを「当たり前」と思わず、わかりやすく説明しましょう。

→ ■ まなべるツール ①～②

避難所の食事は何が入っているのか不安…。

アレルギーや宗教の問題で、食べ物に制限がある人もいます。避難者登録時に確認しましょう。食材表示用のピクトグラム等で、何が使われているのか表示しましょう。

→ ■ そなえるツール ⑦～⑩

避難所で誰も話しかけてくれなくて孤独。何も情報が入ってこない…。

日本語がわからないから、と決めつけず、話しかけてみましょう。家族や周囲の人を通して、コミュニケーションが取れることもあります。

→ ■ つたえるツール ③～⑥



多文化防災 つかえるツール

■ まなべるツール ①～②

■ つたえるツール ③～⑥

■ そなえるツール ⑦～⑩

① 防災チェックガイド

〔(公財) 愛知県国際交流協会〕

災害を多言語（4言語）で紹介。防災研修にも。

② 災害のときの便利ノート

〔(公財) かながわ国際交流財団〕

災害を多言語（11言語）でコンパクトに紹介。

⑦ 災害時多言語表示シート

〔(一財) 自治体国際化協会〕

避難所の掲示物を多言語で作れる。12言語及び「やさしい日本語」に対応。

③ Safety Tips 〔観光庁〕

外国人観光客向け災害用アプリ。5言語対応。



④ 愛知県災害多言語支援センター 〔愛知県〕

多言語の災害情報の提供、翻訳、通訳派遣等を行うセンター。大規模災害時に設置される。

⑧ 食材の絵文字 〔(一財) 自治体国際化協会〕

食材用のピクトグラム（イラスト）。アレルギー表示等に。

ボイストラ ⑤ VoiceTra

〔(国研) 情報通信研究機構〕

多言語音声翻訳アプリ。



⑥ 災害時支援用指さしシート

〔情報センター出版局〕

指さして使える大規模災害時用のコミュニケーションシート。10言語対応。

⑨ 多言語避難者登録カード 〔(一財) 自治体国際化協会〕

避難者の情報を把握するための多言語のカード。12言語対応。

⑩ 災害用コミュニケーション支援ボード

〔豊田市〕

多言語とイラストで、災害時のコミュニケーションがスムーズにできるボード。



外国人と共に災害を乗り越えるためのポイント

ふだんからできること

1 ご近所の外国人とつながっておこう！

顔見知りになっておくと、非常時にもスムーズに助け合うことができますよ。日本人も外国人も同じですね！

2 みんなで多文化防災のことを学んでおこう！

外国人と一緒に防災訓練をしておきましょう。

→ ■ まなべるツール ① 防災チェックガイド 等

避難所の物品等、必要な準備は事前にしておきましょう。

→ ■ そなえるツール ⑦ 災害時多言語表示シート 等

3 避難所にいる外国人の情報を把握しておこう！

避難所にいる外国人の基本的な情報（家族、話せる言語、持病、食べられない物等）は、受付時に把握しておきましょう。また、受付時だけで十分な情報を把握できるわけではないため、情報の追加や修正はいつでも行ないましょう。

→ ■ そなえるツール ⑨ 多言語避難者登録カード 等

外国人だけを無理にグループにまとめないようにしましょう。それぞれ誰としたいのか、意見を聞きましょう。

4 避難所のルールは、わかりやすく貼り出そう！

日本人にはあたり前でも、外国人には馴染みがないルールもあります。多言語や「やさしい日本語」で書いて共有しましょう。（例：夜9時以降は、静かにしましょう）

5 避難所はみんなで運営するものだ伝えよう！

日本人も外国人も、避難所の経験がない人がほとんどです。お互いに協力し合えるよう、外国人だけでなく、日本人に対しても、「避難所は、みんなで協力して運営するものである」ことを伝えましょう。

6 協力者を見つけて、具体的に依頼しよう！

通訳・翻訳ができたり、炊き出しや仕分けが得意な人もいます。「できることはありますか？」と聞いてみましょう。

→ ■ つたえるツール ⑤ VoiceTra 等

協力してほしいことは、具体的に依頼しましょう。

（例：ごはんを配るのを手伝ってほしい）

外国人との協働チェックリスト

- ☐ 地域の外国人の情報（人数、国籍、集まっている場所、キーパーソン等）を把握できている。
- ☐ 外国人にも避難場所や指定避難所等を知らせている。
- ☐ 避難者受付名簿が多言語化してある。
- ☐ 多言語表示シートを避難所に準備してある。
- ☐ アレルギーや宗教によって、人には食べられないものがあることを理解している。
- ☐ 「やさしい日本語」で、災害やその他の情報を説明できる。
- ☐ 行政の外国人対応の担当窓口がわかっている。

平常時：

災害時：

- ☐ 外国人の情報も含めて、避難者受付名簿を作成している。
- ☐ 指定避難所以外で外国人が避難している所を把握している。
- ☐ 避難所運営の会議に、外国人を入れている。
- ☐ 避難所の案内は、多言語または「やさしい日本語」で貼り出している。
- ☐ 避難所生活のルールを文章化して、避難者全員で共有している。
- ☐ 避難所の役割は、外国人も一緒に分担している。
- ☐ 外国人を含め、一人ひとりにできることを聞き取り、避難所運営に参加してもらっている。
- ☐ 落ち着いたたら、在宅避難者支援も行う。

災害が起きたとき

適切な情報を伝えることで、日本人も外国人も、共に協力し合える環境をつくっていきましょう！



外国人の声

愛知県在住の外国人のみなさんに、外国人と日本人が「共に災害を乗り越える」ためのヒントを聞きました。



村上 アリセ さん

ブラジル 出身

東浦町の防災訓練でポルトガル語の通訳ボランティアをしています。日本人の友人に誘われて地域の防災活動に関わるようになりました。外国人の中には日本語が話せない人もいますが、力仕事や仕分けの仕事など、言葉の壁を越えて協力できることはたくさんあります。外国人の若者はパワーがあり、きっと避難所でも活躍します。活動に外国人を巻き込んでください。困ったときは「お互い様」。助け合いましょう。



葛 冬梅 さん

中国 出身

自然災害が少ない江蘇省出身の私は、来日直後、台風や地震に怯えていました。防災イベントに参加する中で防災の知識を得た今では、災害時に周りの人を助けたい、避難所運営にも積極的に携わりたいと考えるようになりました。活動の際には国籍に関係なく、平等に声をかけて欲しいです。外国人への接し方がわからない時は、日本語がわかる外国人を見つけて相談してください。きっと協力の輪が広がるでしょう。



レレイト エマニュエル さん

ケニア 出身

大学で、留学生に対する専門教育と、減災連携研究センターの教員を兼務しています。特に「防災教育」に力を入れており、災害対策や災害時対応について日頃から留学生と議論しています。留学生には日本語と英語が得意なバイリンガル学生が多いので、災害時には通訳者としても活躍できるでしょう。知識を身につけるだけではなく、実際にコミュニティに貢献する活動ができる学生を育成したいと考えています。



オルテガ レオナルド さん

ペルー 出身

災害時に日本人と外国人が助け合うためには、普段から仲良くなっておくことが大切です。防災訓練だけではなく、大掃除、お祭り、子ども会や老人会などの行事にも地域の外国人を誘ってください。「やさしい日本語」で話してくれれば、だいたいの外国人は理解できます。言葉を交わし、ご近所付き合いを深めると協力者が見つかります。普段の地域活動を「誰が、何をできるのか」を知るチャンスにしてください。

2019年3月

発行：愛知県県民文化部社会活動推進課多文化共生推進室 電話：052-954-6138

制作：多文化防災推進プロジェクト（多文化防災ネットワーク愛知・名古屋／NPO 法人多文化共生リソースセンター東海）